

年末年始のお忙しい中、**Research** に原稿をご執筆いただいた先生方に感謝を申し上げます。現在、COVID-19の影響で、本学も含めて大学教育・研究がオンライン化、ハイブリッド化しています。この間、昨年9月12～13日に証券経済学会全国大会（第92回）のオンライン開催に携わりましたので、その情報を学内の皆様にご報告させていただきます。

証券経済学会は社会科学系の学会ということもあり、まずオンライン開催に関してよくご存じの先生がおられなかったという状況でした。とくに、昨年4～5月は先生方がオンライン授業に忙殺され、本当に学会をオンライン開催できるのかという雰囲気でした。そこで福岡市内のW社とアドバイザー契約を結びました。これは学会のオンライン開催に関してわからないことを教えてもらうということが目的でした。実際の作業はマニュアル作成だけでしたので、かなりお安い価格にしてみました。

ところで、私が所属している学会は昨年春から夏の大会は中止になりました。そのため9月にオンライン開催した本学会が、私にとって最初のオンライン大会となりました。しかし、6～7月になると先生方もオンライン授業に慣れてきて、なんとか開催できそうだという空気が変わってきました。

後でわかったことですが本当に大変なのはここからでした。大会はZOOMのウェビナー（ウェブセミナー）機能を利用しておこないました。大学の授業で使うのは通常ミーティングです。ウェビナーはホスト、パネリスト、一般参加者で構成されます。まず、ウェビナー機能の契約、ホストの数、参加者の人数を確定することから始めました。

7月に予行練習も兼ねた合同部会をしたのですが、そこでウェビナーのパネリストの設定が面倒なことがわかりました。ウェビナーでは、報告・討論をされるパネリストの先生方のメールアドレスを事前に登録し、自動メールで送信します。このとき、①自動メールが届かないという先生方が複数おられました。これは他の学会でも生じたそうです。また、②ワンクリックで参加できるようにしたのですが、そのリンクが消えることもありました。③事前に登録したメールアドレスではなく他のアドレスで参加される先生もおられ、この場合パネリストではなく一般参加者になってしまいました。

徐々にわかってきたことですが、これらはZOOMの問題ではなく、①自動メールは新規のアドレスから送ったので、メールソフトが迷惑メールに振り分けたり、メールが届いていても気付かなかつたりしたケースがほとんどでした。また、②大学のメール設定によっては、学内で自動転送される際に、リンクが消えることがわかりました。これに対しては、テキストファイルでメールを送ることで解決しました。③パネリストが一般参加者になった場合は、ホストがその先生をパネリストにすることができました。

大会当日も細かなミスはありましたが「概ねスムーズだった」という評価をいただきました。参加人数もここ数年の対面開催より多いぐらいでした。また、オンライン開催にしたため論文やレジュメもすべてウェブサイトにアップすることができました。学内の皆様に少しでも参考になれば大変ありがたく存じます。

(TK)